天王通り周辺のまちづくりワークショップ かわらばん



No.4 号

2018 年度 WORKSHOP

第３回 WS 開催しました。

開催日時：２月 18 日（月）
14:00～16:00
会場：津島市文化会館１階研修室
テーマ：**「天王通りの“道路”としてあるべき姿について」**
参加者：13 名

ここまでの開催内容

	時期	内容
第1回（済）	平成 30 年 11 月 12 日	**「天王通りの現状とこれからのまちづくりについて」** 整備プラン・アンケート結果等について、沿線住民の方も交えて意見交換。
第2回（済）	平成 31 年 1 月 21 日	**「天王通りのにぎわいのために出来ること」** 自分で出来ること、だれかと協力しないと難しいことなど役割分担を整理。
第3回（今回）	平成 31 年 2月 18 日	**「天王通りの“道路”としてあるべき姿について」** ここまでの検討を踏まえて、道路整備の方向性を考える。

■整備プランの完成です

梅の花が咲き早春の気配を感じる中、第三回ワークショップが開催されました。ここまでの検討を踏まえ、さらに具体的に天王通りの整備計画について検討を加えました。

まずは、これまでのワークショップでいただいた皆さんからの意見を市でまとめた「整備プラン（案）」について説明した後に、皆さんとの意見交換に入ります。

案について、わからない部分を質疑応答して理解を深めるとともに、さらにこうしたら良くなるのではないか、という観点で皆さん意見を挙げてくださいました。**「都市計画道路（拡幅計画）に関すること」**、**「建物の高さ、用途や景観に関すること」**、**「空き家・空き地の活用に関すること」**や、**「整備スケジュール」**など多くの観点から検討して整備の方向性について共有することができました。

今年度の総まとめのワークショップということで、最後は全員の拍手で締めくくりました。事務局も含めて参加者全員のこれまでの尽力をお互いでたたえるとともに、参加者からは**「本当に今回まとめた計画を進めてくれるよね。」**、**「これまでに天王通りの計画が進展しない姿を何度も見てきたから心配なんだ。」**と、市に対して皆さんから温かくも厳しいエールが贈られました。



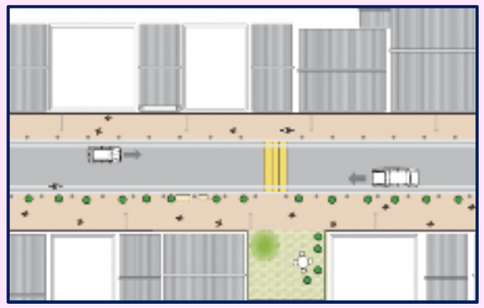
グループディスカッション～「天王通りのにぎわいのためにできること・道路整備の実現に向けたスケジュール」検討

◎全体の方針について

- 市がこれまでの意見を取りまとめた**整備プラン（案）は、概ね問題ない。**
- **街並みは、３つのゾーンに分けて、きめ細やかに誘導策と規制策を設定**していくってことだね。賛成。
- **道路も、駅から神社まで、一律に同じ歩道の幅にするとかではなく、３つのゾーンの状況を踏まえて、きめ細かく設定**するということだね。いいよ。
- **人を優先としたまちづくり**、いいね。

◎現道の幅の整備

- **「都市計画道路による拡幅はヤメる」**、**「その上で３つのゾーン（駅前・中央・神社寄り）にあった道路整備を行う」**、**「現在の道路の幅を基本として整備していく方針」**をワークショップのまとめとすることに賛成。
- ただし、その為には周囲の通過交通を整理して、歩道を整備しないとね。
- 車両通過動線ではなくて、人優先の道路に。



◎ゾーン分けと土地利用・高さ制限の大きな方向性

○駅前ゾーン：高度利用できる（中高層）ビルを誘導。
○中央ゾーン：本町筋の街並みに合うよう高さ制限。
○神社ゾーン：神社の風情に合わせた街並み修景。

- ３つのゾーン区分ごとに設定して、誘導・制限するのは良いことだ。
- 地権者にも分かりやすく説明をしていった方がよい
- 民間企業も地権者も世代交代して新しくなっている。ぜひ、積極的に説明していってほしい。



◎駅前ゾーン

○駅の利便性を活かし、事業所、スーパー、飲食店、マンションを誘致できるゾーンへ!!

- 駅を降りて賑わいがほしい。まだ人が少なすぎる。ぜひ名鉄に考えてほしい。
- まちづくり方針には名鉄やヨシヅヤにも関わってもらうべき。
- 駅チカというのはそれだけで地権者にとって魅力がある。つまり、売れるということ。
- もうじきリニアモーターカーも開通するし、駅前は他の市も競争になっている。
- ある程度、都市としての機能と風格が欲しい。
- 泊まるところがないので、ホテルを呼びたい。

⇒是非、天王通り周辺にゲストハウスが３軒出来ましたので、ご活用ください。（OSHI）

- ホテルと同時に津島ならではの食事ができるところがほしい。

◎駅前ゾーンの開発手法

○中高層ビル群の街並みを目指して、高さの設定や、細かな土地をまとめる再開発などを活用した街づくりを!!

- ビルなどの高い建物を許容しても良い。
- 住民を増やす為にも、マンションなどを建てやすくなるような誘導策が必要では。
- 土地利用の循環を活性化させないと。



【駅とまちなかをつなぐ玄関口】
（参考図：「天王の橋渡し」より）

◎中央ゾーン

○空き屋リノベーションなどで小規模な店舗を誘導して、低層で都会的な店舗が建ち並ぶゾーン!!

- 今は商業地域だけど、近隣商業地域にして、風俗営業店の出店を規制する等の措置した方が良い。
- 本町筋の景観を損ねないように気をつけて。



【本町筋につながる低層な建物を基本とした街並み】
（参考図：「天王の橋渡し」より）

【お問合わせ先】津島市建設産業部都市計画課 TEL：0567-55-9627

今年度ご参加いただいた皆さま、どうもありがとうございました。今後も引き続き、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

◎神社寄りゾーン

○津島神社の景観を活かし、低層な建物と修景により風情ある街並みゾーンへ!!

・昔の街並みを感じられるものは残したい。
・大イチョウのところが天王川の堤防の跡だったり、神社前の塀の雰囲気など。
・良好な景観を創って行くために、個人が行う修景に対する市からの助成金を交付することは賛成である。

◎神社寄りゾーンと高さ制限

○建物の高さ制限ついては、神社の風情を守るため、規制をかけて低い建物を中心にした街並みへ!!

・神社がまちの中心だと分かる措置が必要だと思う。それがイメージアップと魅力につながる。高さ規制の反対もあまり出ないと思う。
・私は修景を壊す高層のマンションはダメだと思う。高さ制限は必要だ。マンションから神社を見下ろすというのもいかがなものか。
・昔の高さを維持したい。



【神社の景観に合う風情ある街並み】
（参考図：「天王の橋渡し」より）

◎電線地中化（無電柱化）の事業

○景観と交通安全の観点から、電線、電柱がない道路へ!!

・賛成だけど、地中化には膨大な費用が、大丈夫？
・地下が複雑にならない？メンテナンスも大変だよ。
・将来の自動運転車は GPS 衛星からの情報と地中に設置する設備を利用するらしいよ。
・電線のカラスのフンに困っている。
・**電柱地中化に期待する。**

◎歩行者中心の道路整備

○周辺の道路が整備されて交通量が減少すれば、車道を狭めて歩道を広げる整備へ!!

・この計画は県と相談しているの。⇒相談している。（市）
⇒GOOD！！
・**天王通りに近接する周囲の（都市計画）道路と一体的な整備をする必要があるね。**
・防災上の観点からも周辺道路の整備は必要。大型車にも対応する必要があるでは。
・市の財政が苦しいなら、昭和南本町線は再び県道に戻しては。
・**天王通りは歩行者中心の賑わいのある道は、GOOD!!**
・車道が狭くなると駅前広場へのアクセスはどうなるのか。
⇒都市計画道路の見直しに併せ、南からのアクセスも視野に入れて見直していきたい。（市）
・将来的に歩行者天国ができるように道路など準備しておくと良い。
・**沿道の地元の車が、路肩に停車はできる道に。**
・県の道路部、警察は大丈夫？　⇒　調整している。（市）
・**歩道と車道の段差が少ない道にしたい。バリアフリーで。**
・でも歩道の段差がなくなると、車が突っ込んできて危険にならない？
⇒ボラードで車をガードする。（市）
・カラー舗装にして視覚的に分けると良い。
・道路整備に併せて、大雨のときの排水も考慮して。
⇒下水はある。昭和 34 年伊勢湾台風の直後に整備されている。（市）



◎その他の意見

○ＩＣＴの活用

・フリーWi-Fi など通信環境すれば若者が集まってくるよ。
・スマホの活用を検討した方がよい。QR コードで簡単にアクセスできるとか。そうすれば外国の方にでも案内可能になる。

○観光

・観光で来た人が迷いやすいので、道案内がもっと必要では。（特に外国人、高齢者にも。）
・でも、サインがベタベタあるのも嫌だ。今ぐらいだと感じが良い。
・南の鳥居側が正規のルートなんだろうけど、天王通りからやってくる人達の対応として東の鳥居側にも観光案内所があるといいね。小さくて良いから。
・津島神社と天王川公園、堀田家住宅　回遊コースにする→「今参道」と言うらしい。

○沿道の整備等

・ポケットパークはイベントができるスペースに。
・OSHI などが効果的なイベントや事業を展開してくれると良いが。
・公衆トイレはどうするの？
・可能ならポケットパークにトイレがあると良い。
・自転車の駐輪場所をポケットパークにつくれば良いのでは。

○空き家・空き地

・耐震補強はお金がかかる。だからといって解体して更地にすると固定資産税が高くなる。
・人が集まる商売で使ってほしい→「琥珀」が心配。
・空き地、空き家を市が借りてほしい。
・市が空き家を買収することがあるのか。⇒難しい。（市）

○他事例

・名古屋栄・三蔵通り・伊勢町通り。企業の寄付で桜などの街路樹を植えている。寄付者が名前を掲示できるルールにしたら、広告費として拠出できるから、結構集まっている。ムクドリ被害も考慮して。



◎スケジュールについて

○5 年以内にすること

「都市計画道路の幅員を現道へ都市計画変更」、「意匠・色彩の修景補助」、「空き店舗の活用補助」

○10 年以内にすること

「高さの制限」、「用途地域の変更」、「高度利用地区の設定」、「電線地中化」

○10 年程度先にすること

「名古屋津島線、昭和南本町線、橋詰見越線の整備完了」、「歩行者優先の道路整備」

・市が方針を表明しきちんと進めていくこと。
・民間企業進出の下支えになる。
・地元には（地権者や店）早めに話をしていった方がよい。市から積極的に町内会・商店街に出て行った方がいいよ。
・５年って結構すぐに来てしまうよ。本当にやってくれるよねぇ、津島市さん。
・今まで、新しい計画が進展しない姿を何度も見てきたから、心配です。
・今度はほんとに頼むよ。期待していますから。

ワークショップ終了後の参加者アンケートまとめ

Q.本日のワークショップの感想をお聞かせください。
よい意見いいお話が聞けて楽しかったです。プランの案はいいと思います。地中化はとてもいいです。／天王通りの道路づくり計画がよく理解できました。／１～２回のＷＳと違いＡ班+Ｂ班の合同での検討会となりました。テーマを強調する提案が時として焦点がボヤけてしまった感がしました。メンバーの頭数は、もう一度Ａ、Ｂ別が有効では…とも感じました。／天王通りの大まかなイメージがみえてきた。（３ゾーンに分ける電柱地中化）県道から市道にすることで、様々なプランが考えられることがわかった。南北の通りを防災道路として拡張できると良い。

Q. 本日のワークショップで発言できなかったご意見、その他ご質問などあれば自由にご記入ください。
道路づくりと同時に全体サイン案内を検討して下さい。地元住民は方向が判っているけど、観光客は初めてで迷子になる?／都市計画と地権者の理解・協力がとても大切。あせらず（さりとてできるだけ早期に）より具体的打ち合わせを重ねて、話題の広がりを創って行って、予想外の広がりができるかも…と期待がもてました。／まちおこしのソフトイベントも必要と思う。／できるところから具現化していって欲しい。

編集後記

準備会も含めて全四回に出席いただいた皆さん、貴重なご意見の数々本当にありがとうございました。みなさんの検討作業のおかげで、最初おぼろげだった天王通りの整備の方針が徐々に見えてきました。とりわけ今年度は天王通り周辺地域の方に昨年以上の声掛けをしてワークショップにお誘いしました。少数精鋭にはなりましたが、地元の方の言葉は重みがありました。地に足がついた検討ができたと実感しています。そこに天王通りの未来を憂う皆さんの想いが重なって、各回とても良い話し合いでした。ただワークショップは一つの契機にすぎません。これからも市では、多くの方と一緒に、「整備プラン」の実現に向けて進んでいきたいと考えております。今後とも天王通り周辺のまちづくり事業にご理解・ご協力をお願いします。